

演題プログラム Program

日本農業気象学会2021年全国大会発表

	[オンデマンド] セッションA：気候変動・変動適応・気象災害・異常気象	
AM01	気候変動環境下における流域水資源利用のガバナンスに関する研究	杉岡佑奎・ロッシュフェリックス拓磨・横沢正幸(早稲田大)
AM02	地上気温の時間別予報値を基にしたレモンの寒害警報技術の開発と実証	植山秀紀(農研機構西日本農研)・岡田周平・村本淳樹(ビジョンテック)
AM03	1か月アンサンブル予測データの害虫発生時期予測への適用に関する研究	萱場互起・鮫島良次(北海道大)
AM04	チャの凍霜害リスクに対する温暖化の影響－気温と耐凍性の複合指標Temperature Safety Marginに基づく評価－	吉田 晃一郎(九州大)・木村 建介(農環研)・内村 浩二(鹿児島農総セ)・安武 大輔(九州大)・北野 雅治 (高知大)・広田 知良 (九州大)
AM05	畑地における熱慣性を用いた土壌水分時系列変化の追跡法	菊池 完圭・松島 大(千葉工業大)・鮫島 良次(北海道大)・根本 学(農研機構・北農研)・柏木 浩二 (北海道糖業)・妹尾 吉晃 (北海道糖業)
	[ポスター] セッションA	
AP01	気象と生物季節を考慮した凍霜害リスクの時空間分布：過去40年のチャ園における評価	木村 建介(農研機構 農環研)・工藤 健(埼玉県)・丸山 篤志(農研機構 農環研)
AP02	日本における適応研究のためのCMIP5ベース1kmメッシュ気候シナリオ群	西森基貴(農研機構)・石崎紀子・塩竈秀夫・花崎 直太・高橋潔(国立環境研)・遠藤伸彦(農研機構 *現海洋研究開発機構)・飯泉仁之直(農研機構)
AP03	栃木県那須塩原市の過去40年間の気象変動と農業生産に与える影響	高橋行継(宇都宮大)・岡野祐児・設楽尚志(那須塩原市)・吉川美幸(宇都宮大)・
AP04	気候変動による穀物生産の水リスク分布の変化	岡田将誌・肱岡靖明(国環研)
AP05	地域特性に応じた気候変動影響の定性予測－インパクトチェーンとその適用	大場真・戸川卓哉・中村省吾・辻 岳史・五味馨・吉岡明良・肱岡靖明(国環研)
	[オンデマンド] セッションB：気象現象・広域気象・局地気象・微気象	
BM01	複数地域および年次の比較によるウンシュウミカンの果実品質に影響する気候指標の選定	鵜久森 英輔・大橋 唯太・千葉 太一・安保 美奈子・藤井 瑛美・菊池 啓介・松田 拓也・北本 勇也(岡山理科大)
BM02	水田の作付状況が排水路の水温変化に与える影響	新村麻実(農研機構 農工研)
BM03	2015年7月30日～8月2日の黒部五郎岳－双六岳－笠ヶ岳の気象推測	真木太一(九州大名誉教授・日本学術会議連携会員・北海道大農学研究院農学研究員)
BM04	那須・赤城・榛名・筑波・八ヶ岳おろしと富士川おろしの気象特性	真木太一(九州大名誉教授・日本学術会議連携会員・北海道大農学研究院農学研究員)
BM05	小規模な谷戸地形における夜間冷却の時空間変動	久米俊郎・矢崎友嗣・菊地真樹・甲斐貴光 (明治大)
BM06	稲穂の色と高さが穂温に与える影響について	北嶋 諒太郎・松田 修・熊丸 敏博・久米 篤(九州大)
BM07	植物群落内におけるスカラー量の遠隔的輸送に寄与する乱流の時空間構造	渡辺力・下山宏・川島正行(北大低温研)・稲垣厚至(東工大)
BM08	推計気象分布と気温実測値を用いた谷戸地形の夜間冷却に及ぼす影響の検討	菊地 真樹・矢崎 友嗣・甲斐 貴光(明治大)
BM09	熱帯における土地被覆変化が地域気候へ与える影響：季節性の評価	佐藤友徳・Shixue Li・平野高司(北海道大)
BM10	中国北西部の乾燥地畑地における結露の発生は季節ごとに異なる気象要因に制限される	横山岳・安武大輔(九州大)・王維真(中国科学院)・呉月茹(内蒙古農業大)・冯姣姣 (中国科学院)・董磊磊 (中国科学院)・木村建介 (農環研)・丸居篤 (弘前大)・広田知良 (九大)・北野雅治 (高知大)・森牧人 (高知大)
BM11	害虫発生予察の高度化に向けた群落内気温の観測	望月遼太(農研機構九沖農研)・丸山篤志(農研機構 農環研)
	[ポスター] セッションB	
BP01	放射除けを使わずに気温を計測する三球温度計の開発と農業気象研究での活用	丸山 篤志(農研機構 農環研)
BP02	気象庁局地数値予報モデルGPV (LFM) を用いたメッシュ農業気象データ風速の精度検証	佐々木 華織(農環研)
BP03	収穫期のバレイショ圃場における地温日変化の推定	小南靖弘・金谷真希(農研機構)

	[オンデマンド] セッションC：作物生育・生育モデル・収量予測	
CM01	水稻の適地・適作期判定を支援するツールの開発	舛谷悠祐(農研機構東北農研・岩手大)・長谷川利拡(農研機構東北農研)
CM02	外部気象データを用いたピーマンの出荷量予測の試み	神田英司・武居佑弥(鹿児島大)
CM03	リンドウの出荷予測モデルに関する研究-蕾の発育速度の作成-	内藤千晶・荊木康臣(山口大)・藤田淳史・川野祐輔(山口県農林総合技術センター)
CM04	ドローンをを用いた簡易的な水稻生育診断法の検討	北林 颯太(鹿児島大)
CM05	北部九州における大豆灌水栽培の一事例	野見山 綾介(農研機構九沖農研)
CM06	エジプト・ダハラオアシスにおける土壌水分量予測モデルの作成と現行灌漑管理の評価	松本祐太郎・濱侃(千葉大)・岩崎えり奈(上智大)・木村玲二(鳥取大)・松岡延浩 (千葉大)
	[ポスター] セッションC	
CP01	胴割粒の発生に関わる気象・栽培条件の抽出	滝本貴弘・西森基貴・石郷岡康史・桑形恒男・若月ひとみ・長谷川利拡(農研機構)
CP02	国別コメ収量の推定精度向上のための生育モデル最適化スキームの構築	真崎良光(茨城大農)・増富祐司(国環研)
CP03	防風林が畝の風食とジャガイモ緑化に与える影響	岩崎健太(道総研)・下田星児(農研機構)・中田康隆・鳥田宏行・蝦名益仁(道総研)・南光一樹(森林総研)
CP04	雨よけ栽培シャインマスカットの発芽日および満開日の推定法	杉浦裕義(農研機構)・庄子雅和(宮城農園研)・岩崎千沙・菊井玄一郎・小谷野仁(農研機構)
CP05	機械学習を用いたイネ個葉の光合成速度の予測	本多誠之・辰己賢一(東京農工大)
	[オンデマンド] セッションD：植物の環境応答・モニタリング・生物季節	
DM01	内陸アラスカの植生の春のフェノロジーの評価	川嶋 しほり・植山雅仁・原藺芳信(大阪府立大)・岩田拓記(信州大)・小林秀樹 (海洋研究開発機構)
DM02	コムギ窒素施肥処理区における群落条構造とクロロフィル濃度から受ける光合成指標SIFへの影響	向角友喜・加藤知道(北海道大)・小林秀樹・酒井佑禎(海洋研究開発機構)・辻本克人 (東北大) ・中島直久・ビュワイール・カノクラット (北海道大) ・烏蘭 (海南大) ・二宮秀輝・水野ゆかり (北海道大)
DM03	可視/近赤外ハイパースペクトルデータを用いたサツマイモセンシングの可能性	濱 侃・坂田 啓太・松岡 延浩(千葉大)
DM04	モンゴル草原における可食植物の気候応答	中野 智子(中央大)・Tserenpurev Bat-Oyun(Hydrology and Environment, Mongolia)・篠田 雅人(名古屋大)
DM05	小型分光器を用いた海底分光反射特性の取得	難波 尚樹・白井 達也・関 晴之・菌部 礼(静岡大)・齋藤 元也 (東京大) ・望月 貫一郎 (パスコ)
DM06	作物群落における透過光のスペクトル特性とその利用 ―LAIの推定を例として―	山口洋夢・次郎丸雪衣・安武大輔・広田知良(九州大)
DM07	ばれいしょ品質における生育後半の高温の影響	金谷真希・赤井浩太郎・遠藤千絵・下田星児・小南靖弘 (北農研)
DM08	温室イチゴ栽培における生殖成長と微気象環境の動的関係の解析	小野信太郎・安武大輔(九大)・木村建介(農環研)・井研吾(宮崎県)・照屋佳也 (九大) ・日高功太 (九沖農研) ・広田知良 (九大) ・北野雅治 (高知大) ・岡安崇史・尾崎行生 (九大)
DM09	イチゴ葉における光合成産物のローディング動態の評価 -昼/夜サイクルを通して変化する葉の炭素収支に基づいて-	中井 鴻美・安武 大輔(九州大)・木村 建介(農研機構)・岡安 崇史・尾崎 行生(九州大)・北野 雅治(高知大)・広田 知良(九州大)
DM10	深層学習を用いた画像からのLAI推定―入力画像の影響―	本田龍樹・荊木康臣・佐合悠貴(山口大)
DM11	光合成有効光量子束密度が変動する光環境における相対分光分布がキュウリ葉の純光合成速度に及ぼす影響	久保 俊介・富士原 和宏・松田 怜(東京大)
DM12	飽和光が照射できない場合のクロロフィル蛍光画像計測に関する研究	LIU TONGXIN・荊木康臣(山口大)
DM13	塩水で湛水栽培されたコマツナ葉の浸透ポテンシャル調節過程	松嶋卯月・篠田早紀・庄野浩資(岩手大)
DM14	励起蛍光マトリクスを用いた微細藻類のストレス診断手法の検討	遠藤 良輔・清水 啓太・渋谷 俊夫・北宅 善昭(大阪府立大)
DM15	ミズゴケの光合成速度の測定方法の検討 ～最適含水比の検出の必要性～	板橋大翔・矢崎友嗣(明治大)・矢部和夫(札幌市立大)・星良和(東海大)
DM16	パイプモデル理論を応用したUAV観測樹冠高モデルによる立木材積推定法	町村 尚(大阪大)・林 希一郎(名古屋大)・杉田 暁(中部大)・高木洋明(名古屋大)
DM17	太陽光発電パネル下で栽培したキウイフルーツ葉の光合成特性	佐藤香奈子 (静岡県農林技術研究所, 静岡県立大)・杉山愛莉・谷 晃 (静岡県立大)

	[ポスター] セッションD	
DP01	メッシュ農業気象データを日本国内におけるミカンキジラミの定着可能地域の推定	紺野祥平・杉浦俊彦(農研機構)
DP02	日光合成量を光合成モデルから計算するために必要な光計測時間分解能	村上 貴一(農研機構 北海道農業研究センター)・地子 智浩(電力中央研究所)
DP03	カリ施肥法の違いが水稻の安定同位体Cs吸収に及ぼす影響　ーイネのセシウム吸収における生育中期の土壌可給態カリの効果についてー	羽田野麻理(農研機構東北農研)・松波麻耶(岩手大農)・石川淳子(農研機構作物開発センター)・藤村恵人(農研機構東北農研)・後藤明俊(農研機構作物開発センター)・長谷川利拡・新良力也(農研機構東北農研)
DP04	ニラの成長を特徴付ける光合成産物の貯蔵機能の解析	安武大輔・小林海斗・広田知良(九州大)・野村浩一・北野雅治・森牧人(高知大)
DP05	機械学習とハイパースペクトルデータを用いたメロン葉におけるクロロフィル量のモニタリング	近藤凌平(静岡大)
DP06	衛星SIFデータを用いた2015年エルニーニョによるボルネオ島の生態系ダメージの検出	村上和隆・齊藤 誠・野田 響・押尾晴樹・吉田幸生(国環研)・市井和仁(千葉大、国環研)・松永恒雄(国環研)
DP07	東北地方におけるソメイヨシノの開花指標となりうる気象要素の検討	上山和花(弘前大理工)・石田祐宣(弘前大院理工)
	[オンデマンド] セッションE：施設・施設園芸・植物工場・環境制御	
EM01	キュウリの葉の受光量計算	守行 正悟・光藤 雄一・大和 陽一・奥島 里美(農研機構九沖農研)
EM02	光環境が薬用植物アカヤジオウのオリゴ糖類生産に及ぼす影響	鈴木健太・深沢桂祐・豊田愛実・川上寛子・原光二郎・小峰正史(秋田県立大)
EM03	IoT土壌水分センサによる体積含水率の連続測定	岩谷 潔・園山 芳充・馬場 雅之(アグリライト研究所)・金崎 寛(損害保険ジャパン・Guy Sela (CropX))
EM04	照射光中に含まれる遠赤色光の割合の変化に対するキュウリ実生の形態的可塑性	渋谷俊夫・片岡千景・遠藤良輔・北宅善昭(大阪府立大)
EM05	遠赤色光と相対湿度がペチュニアの花成と伸長成長に及ぼす複合影響	渋谷俊夫・泉 美佑・遠藤良輔・北宅善昭(大阪府立大)
EM06	培地冷却法による、ワサビ苗の栽培適温以上の気温下での生育	風岡菜月・奥岡佳純(静岡県立大)・久松奨・馬場富二夫・貫井秀樹（静岡県農林技術研究所）・谷晃（静岡県立大）
EM07	ハウレンソウ群落における栽植密度と吸光係数の関係	次郎丸雪衣・山口洋夢・安武大輔(九大)・野村浩一(高知大)・尾崎行生・広田知良（九大）・北野雅治（高知大）
EM08	アイスシェルター型貯蔵庫で製造・保管される氷の凍結・融解状況の推定	木村賢人・石田岬・伊藤朱里(帯広畜産大)
EM09	植物栽培に適した光環境再現を目指した局所、多点光環境計測システムの開発	松永 忠雄・近藤 拓実(鳥取大)・岸本真幸(鳥取県園芸試験場)・西原英治・李相錫・大観光徳（鳥取大）
	[ポスター] セッションE	
EP01	培地の電気伝導度が高糖度トマトの生育、収量および糖度に及ぼす影響	彦坂晶子・高野裕莉亜・池田龍彦・後藤英司(千葉大園芸)
EP02	グリーンハウス内の光環境設計・制御に関する基礎研究　ー農業用散乱フィルムにおける全光線透過率の入射角依存性ー	大観光徳・上野雄佑・熊倉颯晟・石垣雅・阿部友紀・西原英治・坪 充(鳥取大)・岸本真幸(鳥取県園芸試験場)
EP03	UV強度およびPPFDがレモンバームの生育および生理活性物質濃度に及ぼす影響	吉田英生(千葉大院園芸)・角 晴香(千葉大園芸)・彦坂晶子・後藤英司(千葉大院園芸)
	[オンデマンド] セッションF：フラックス・炭素循環・微量ガス交換	
FM01	火災に伴う熱帯泥炭林跡地のCO ₂ ソースからシンクへの転換に対する考察	大久保晋治郎・平野高司(北海道大)・Kitso Kusin(バランカラヤ大学)
FM02	生態系モデルを用いた森林におけるメタン酸化速度の評価	藤本梓・植山雅仁(大阪府立大)・伊藤昭彦・高橋善幸・井手玲子(国環研)
FM03	都市域におけるメタンおよび二酸化炭素交換量の時空間変動の評価	高野倫未・植山雅仁(大阪府立大学)
FM04	永久凍土上のクロトウヒ湿地林からのメタン放出の10年変動	岩田拓記（信州大）・植山雅仁（大阪府立大）・永野博彦（名古屋大）・原園芳信（大阪府立大）
FM05	浅い富栄養湖ー大気間の二酸化炭素交換の日内変動と生物プロセスの影響	落合悠介・岩田拓記・岡岡 作・宮原裕一・朴 虎東（信州大）
FM06	都市近郊の丘陵地森林における炭素収支の特徴	若林大雅・矢崎友嗣(明治大)・高木健太郎(北海道大)・松田和秀(東京農工大)
FM07	高山帯のハイマツ生態系と大気間の二酸化炭素交換の制御要因	田邊憲伸・岩田拓記・佐藤棕(信州大)
	[ポスター] セッションF	
FP01	森林内の揮発性有機化合物濃度の季節変動特性と気象要因の関係性	深山貴文・山野井克己・溝口康子・森下智陽・野口宏典・安田幸生・岡野通明・小南裕志・吉藤奈津子・高梨聡・北村兼三(森林総研)・松本一穂(琉球大)
FP02	アジア地域のメタン収支に関するボトムアップ評価	伊藤昭彦(国環研)・ブラビール・パトラ(海洋研究開発機構)
FP03	経験的パラメータを使用しない渦集積法によるフラックス測定システムの検討	坂部 綾香(京都大)・高梨 聡(森林総研)・斉藤 拓也(国環研)
FP04	森林管理が近未来の信州カラマツの炭素収支にもたらす効果の評価	栗林正俊(長野県環境保全研究所)・伊藤昭彦(国環研)
FP05	生態系モデルを用いたバイオマス資源評価	大場真(国環研)